

Victory

NO.7

令和2年9月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

秋
autumn

「朝陽祭」から始まった今月。

コロナ禍中での今年の朝陽祭でしたが、置かれた状況下で文化の部・体育の部と一人ひとりが持てる力を発揮。みなさんのこれからが楽しみです。

また毎年恒例の「古本市」も実施。前々日まで図書委員会主要メンバーが準備に追われました。今回は、ギリギリまで状況の見えない中で

進めてきた準備だったので、当日まで気が抜けなかった

ことと思います。当日はみなさんの「三密回避・

ソーシャルディスタンス・マスク着用・消毒

への心掛けにより無事終了することができました。

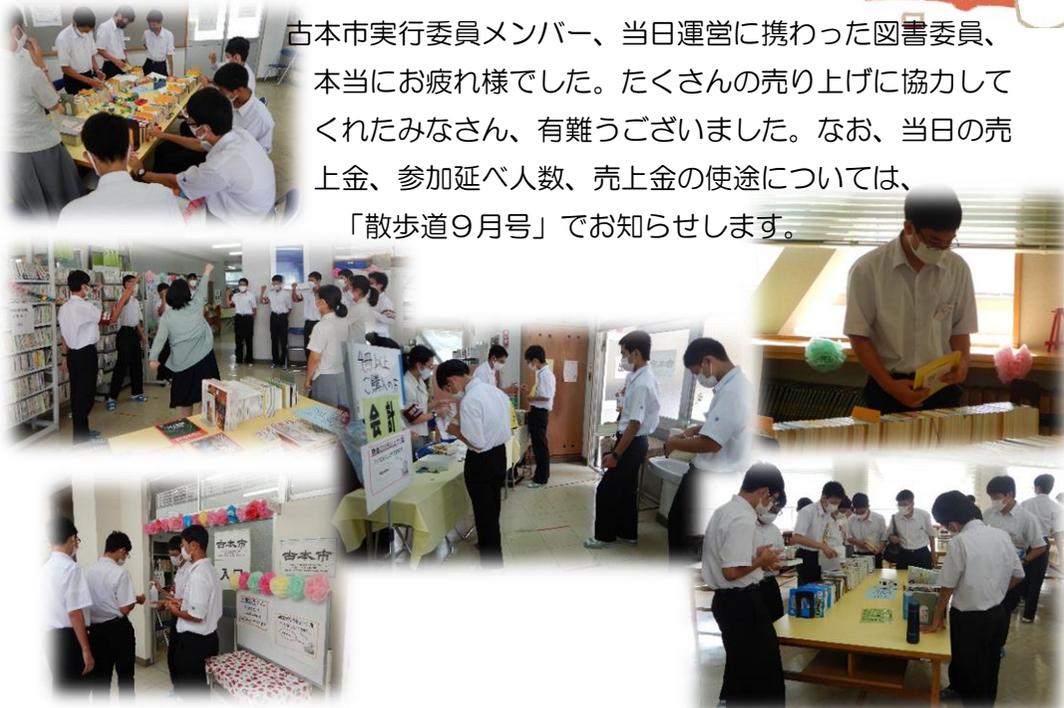
古本市実行委員メンバー、当日運営に携わった図書委員、

本当にお疲れ様でした。たくさんの売り上げに協力してく

れたみなさん、有難うございました。なお、当日の売上

金、参加延べ人数、売上金の使途については、

「散歩道9月号」でお知らせします。



今月の展示コーナー 『芸術の秋』

朝陽祭は終わりましたが、そこからバトンを受けて今月は部活動関連図書を紹介しています。アートな本の世界を楽しんでください。

本校では現在約40種の部が活動しています。様々な運動系の部はもちろん文化系の部もほとんどが、図書館の分類でみると

「700芸術」に属します。もちろんそうでない部もありますが、創造することから始まるのはすべての部に共通だと思いませんか？



新聞・時事から思考するミニコーナー 『命はいったいだれのもの？』

昨年11月に京都のALS患者が亡くなりました。その死に関わった二人の医師が今年8月に逮捕された事件を覚えていますか？今回は、各新聞社の記事を掲示し、関連図書も紹介しています。倫理観（医療・生命）、死生観、民族性、アイデンティティなど多角的視点から考える機会に。



図書館は、進化の途中です。改装中

棚からひとつかみ『動物に教えてもらう』



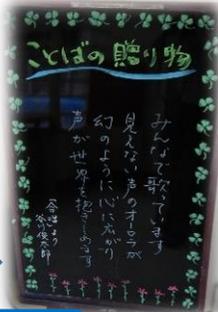
今回は、「動物」がらみの本を紹介します。私たちは言葉を越えた『愛』を彼らから教えてもらっているのですね。

ちなみに9月20日～26日は動物愛護週間。

4月から開始した館内整備も今月でちょうど半年になりました。一部進化を遂げたところを紹介しします。未だ図書館に足を踏み入れていない君、この機会に図書館と仲良くなろう！

ことばの贈り物

図書館入口左側であなたをお出迎え。今回、あなたが出合う言葉は！



新着資料コーナー

入って右側の木製書架で待っています。横には新着資料紹介を掲示。チェックしてね。



閲覧スペース

テーブルを斜めにしてみました。



ブラウジングスペース

図書館の大切な機能。ソファでゆったり、本を読むもよし、漫画を読むもよし、雑誌や新聞も。そして何をすることもなく「ぼ〜っ」とすることが許される空間。いざ、図書館へ！



分類見出しサイン

目的の本が探しやすい！



『キリン解剖記』郡司芽久著（ナツメ社）489ク

文学しか読まないあなたにもおすすめしたい！これは物心つくか否かの頃にすっかりキリンに魅了された著者が解剖学者になるまでのリアルな物語。いくつになっても失うことのない知りたいという探究心が現在の著者を形成していることに加え、研究の道へと進む背中を押した大学の教授をはじめ、研究（解剖）を様々な立場から支える人たちとの出会いの数々にもワクワクする。



とにかく、あふれんばかりのキリン愛を随所に感じながら読む本書は「動物記」、「生態記」、「研究法」、「愛の物語」が詰まった「解剖記」なのだ。

『カモメに飛ぶことを教えた猫』ルイス・セベルベダ著（白水社）963セ

カモメのケンガーは、油にまみれた海から瀕死の状態で猫のゾルバの元にたどり着き一つの卵を産み落とし力尽きる。ゾルバはケンガーと三つの約束をする。「卵を食べない」「ひなが生まれるまで卵の面倒を見る」「ひなに飛ぶことを教える」。高貴な精神の持ち主ゾルバは約束を果たすために近所の猫仲間たちと大奮闘する。最後にゾルバが得たのは…。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

今回は、「科学道 2020」（理化学研究所）の紹介をします。一足早くのぞいてみたい人はこちらからアクセス！

<https://www.riken.jp/pr/kagakudo100/>

